

令和元年度全国学力・学習状況調査結果

R1. 8. 27 湯梨浜町立泊小学校

学力調査結果について

1 概要

【平均正答率】

	国語	算数
泊小学校	7 5	7 5
鳥取県	6 3	6 6
全国	6 3. 8	6 6. 6

【平均正答数】

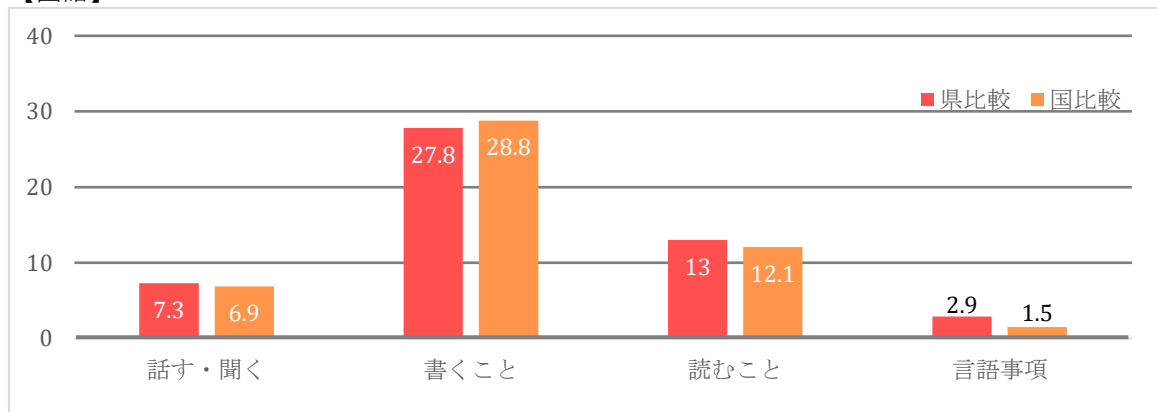
	国語 (全14問)	算数 (全14問)
泊小学校	1 0. 4	1 0. 5
鳥取県	8. 9	9. 2
全国	8. 9	9. 3

国語、算数とも、平均正答率で全国平均及び県平均を上回っている。

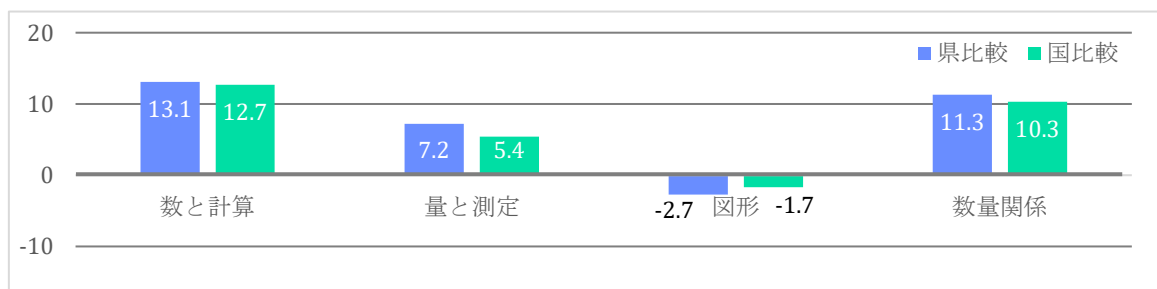
今年度から、国語A・国語B・算数A・算数Bという分類はなくなり、「国語」「算数」の2項目となっている。

2 領域別正答率比較（単位はポイント差）

【国語】



【算数】



国語は、全領域で県平均及び全国平均を上回っていた。特に、「書くこと」の領域全3問の正答率が高く、条件に合わせて自分の意見を書く力がついていた。算数では、「図形」の正答率だけが、全国平均及び県平均を下回っている。図形の性質に注目して、2つの合同な図形を合わせてつくる形を選ぶ問題での正答率が低かった。

3 問題別正答数と分析（全国比10ポイント以上差があったもの。ptはポイント）

【国語】

番号	問題の概要	出題の趣旨	正答率(全国比)と分析
1一	報告する文書で、資料をどのような目的で用いているか、適切なものを選択する。	図表やグラフなどを用いた目的をとらえる。	◎87.5%(+16.3pt) 「表と地図」が使われている意図が、それぞれ理解できていた。
1二	報告する文書の書き方の工夫として適切なものを選択する。	情報を相手にわかりやすく伝えるための記述の仕方の工夫をとらえる。	◎93.8%(+30.4pt) 「箇条書き」してあることの意味が理解できていた。
1三	報告する文書内に、調査した結果から分かったことをまとめて書く。	目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く。	◎68.8%(+40.0pt) 2つの調査結果からそれぞれ取り上げて書く条件を満たしている児童が多い。
1四 (1) ウ	漢字を使って書き表す。 (<u>かんしん</u> をもってもらいたい)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。	▲18.8%(−16.8pt) ＜誤答例＞ 感心(11名)、感真(1名) 観心(1名)
1四 (2)	長い1文を、接続語「そこで」を使って2文に書き表す。	文と文の意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く。	◎75.0%(+27.2pt)
2 (1)	疑問に思ったことに対する答えとして適切なものを選択する。	目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらか読む。	◎93.8%(+13.1pt) 資料のどこを読めばよいか理解できている。
2 (2)	ノート内に、疑問に思ったことに対する答えになるように考えて書く。		◎93.8%(+17.9pt) 資料のどこを読めばよいか理解し条件に合わせて文が書けていた。
3一	インタビューでの、自分の理解が正しいかを確認する質問として正しいものを選択する。	話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をする。	◎93.8%(+12.5pt)
3三	話し手の思いや考えに着目して心に残ったことを書く。	話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる。	◎81.3%(+13.1pt) 話し手の言葉をきちんと抜きだせていた。

【算数】

番号	問題の概要	出題の趣旨	正答率(全国比)と分析
1(3)	減法の式が、示された形の面積をどのように求めているのかを、数や演算の表す内容に着目して書く。	示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる。	▲31.3%(−12.6pt) 3つの条件のうち、2つだけ書いている誤答が多い。引き算の意味の説明が足らなかった。
2(2)	市全体の水の使用量が、30年前の何倍になるか棒グラフから読み取って書く。	2つの水の使用量を比べて、何倍になっているか読み取ることができる。	◎93.8%(+15.2pt)

3 (1)	350－97について、引く数の97を100にした式にして計算するとき、ふさわしい数値の組み合わせを書く。	示された減法に関して成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈し、適用することができる。	◎100% (+18.2pt)
3(3)	被序数と序数にかけの数や割る数を選び、600÷15を計算しやすい式にして計算する。	示された計算に仕方を解釈し、かける数や割る数を選び、計算しやすい式にして計算できる。	◎100% (+25.1pt) 3通りの正解がある問題。式の意味をよく理解していた。
4 (1)	だいたい何分後に乗り物券を買う順番がくるのかを知るために、調べる必要のある事柄を選ぶ。	目的に適した伴って変わる二つの数量を見いだすことができる。	◎93.8% (+11.1pt)
4 (2)	何秒後にゴンドラに乗ることができるのかを求める式を書く。	示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式することができる。	◎81.3% (+12.7pt) ゴンドラの台数など、余分な情報もある。10×20でも、20×10でも正解。
4 (3)	残り7ボール分進むのにかかる時間の求め方と答えを記述し、24分間以内にレジに着くことができるかどうか判断する。	場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答えを記述し、その結果から判断できる。	◎87.5% (+24.9pt) 問題の意味を理解し、立式できていた。

4 考察

- ・正答数の度数分布は、下位層がなく中上位層が多い結果であった。無解答率も低く、全体的に良好な結果であった。
- ・昨年度に引き続き、同音異義の漢字問題での正答率が低く、同じ傾向のまちがいが大変多かった（感心と書いた誤答が全児童の69%の割合）。習った漢字を文章の中でどのように使っていくのか意識しながら、定着に取り組んでいきたい。
- ・国語では書く領域の正答率が高く、特に3つの条件に合わせて意見をまとめる記述問題では、全国平均正答率を40ポイントも上回っていた。日頃より問題文をよく読み、求められていることに対応した答え方を、どの教科でも取り組んでいる成果であると考え。
- ・反対に算数の記述問題では、3つの式の意味を説明する問題での正答率が31.3%と低かった。自分の考えを式や図にまとめ、言葉を使って説明する活動は行っているが、どのような説明がよいかについて、教科書の会話例モデルを参考にするなどの工夫をしていきたい。

学習状況調査結果について

【全体の概要】

- ・本校が県・全国を上回る **12/58**
- ・本校が県のみ上回る **5/58**
- ・本校が全国のみ上回る **0/58**
- ・本校が県・全国を下回る **41/58**

生活習慣

- 1 朝食を毎日食べていますか。
○食べている（本校 75.0%、県 88.5%、全国 86.7%）
- 2 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。
○寝ている（本校 31.3%、県 40.6%、全国 38.9%）
- 3 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。
○起きている（本校 56.3%、県 59.0%、全国 58.7%）

*昨年度末に生活習慣についての課題が挙がっていたが、6年生の調査結果にもこの課題が表れている。「早寝・早起き・朝ご飯・歯みがき」の取組も合わせて、生活習慣への意識を高めたい。

自尊感情

- 4 家の人と学校での出来事について話をしますか。
○している＋どちらかといえばしている（本校 68.8%、県 76.6%、全国 77.4%）
- 5 自分にはよいところがあると思いますか。
○ある＋どちらかといえばある（本校 75%、県 81.7%、全国 81.2%）
- 6 先生は、あなたのよいところを褒めてくれますか。
○褒めてくれる（本校 12.5%、県 46.9%、全国 43.1%）

*自尊感情に関する項目であるが、家庭と協力して「認める」ことをしていきたい。また、子どもたちとの関わりを深めることや声のかけ方を考えながら「伝えるべきこと」「認めること」等を含めた指導・支援を行っていきたい。

目標など

- 7 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していなかったところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。
○思う（本校 **68.8%**、県 58.5%、全国 59.5%）
- 8 将来の夢や目標を持っていますか。
○持っている（本校 43.8%、県 63.5%、全国 65.9%）
- 9 ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことはありますか。
○ある（本校 62.5%、県 **79.2%**、全国 **79.5%**）
- 10 難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦している。
○している（本校 18.8%、県 30.6%、全国 30.1%）

*夢を持ったり、目標を定めたりして、それに向かってやり遂げたり、挑戦したりする気持ちを育てていきたい。

学校生活、学習、読書など

- 11 学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか。
○ある＋どちらかといえばある（**本校 93.8%**、県 85.8%、全国 84.1%）
- 12 学校に行くのは楽しいと思いますか。
○思う＋どちらかというと思う（**本校 93.8%**、県 84.6%、全国 85.8%）
- 13 学校のきまりを守っていますか。
○守っている（本校 31.3%、**県 42.3%**、**全国 46.7%**）
- 14 人が困っているとき、進んで助けていますか。
○助けている＋どちらかというと思う（**本校 93.8%**、県 88.2%、全国 87.9%）
- 15 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
○思う＋どちらかというと思う（**本校 100%**、県 97.3%、全国 97.1%）
- 16 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。
○思う（本校 68.8%、**県 75.4%**、**全国 74.7%**）
- 17 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。
○している（本校 12.5%、**県 31%**、**全国 33.1%**）
- 18 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）
○1時間以上している（**本校 81.4%**、県 68.1%、全国 66.0%）
- 19 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）
○30分以上している（本校 18.9%、**県 37.4%**、**全国 39.8%**）
- 20 昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか。
○週に1回以上行く（**本校 68.8%**、県 47.2%、全国 40.5%）
- 21 読書は好きですか。
○好き（本校 25.0%、**県 42.8%**、**全国 44.3%**）
- 22 新聞を読んでいますか。
○週に一回以上読んでいる（**本校 43.8%**、県 23.1%、全国 19.0%）

***図書館へは通っているが、1日の読書時間は県や全国に比べ少なくなっている。また、読書を好む児童の数も多くない。ただ、新聞を読む児童数は県・全国に比べ多くなっている。**

地域との関わり

- 23 今住んでいる地域の行事に参加していますか。
○している（**本校 56.3%**、県 51.0%、全国 37.2%）
- 24 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか。
○ある＋どちらかといえばある（本校 50.1%、県 51.5%、全国 54.5%）

***ふるさと学習をしたり、地元食材給食の食育指導も加え、自分たちのふるさとが自慢できるようなことを今後も進めていきたい。**

外国の人との関わり

- 25 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか。
○思う（本校 18.8%、**県 37.6%**、**全国 39.2%**）
- 26 日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか。
○思う（本校 37.5%、**県 45.6%**、**全国 46.7%**）

***外国語科は次年度より本格実施になるが学習の中での積極的な活動、ALT 交流や修学旅行での外国の方との交流等をどんどん進めていきたいところである。**

コンピューターの活用

- 27 5年生までに受けた授業で、コンピューターなどの ICT をどの程度使用しましたか。
○月 1 回以上使用した（本校 62.6%、**県 66.0%**、**全国 69.0%**）
- 28 授業でもっとコンピューターなどの ICT を活用したいと思いますか。
○思う＋どちらかというと思う（本校 81.3%、**県 85.3%**、**全国 86.5%**）

***ICT の活用、それによる意欲喚起について進めていくことも大切だと考える。**

話し合い活動

- 29 学校の友達との間で話し合う行動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。
○思う＋どちらかといえば思う（本校 68.8%、**県 74.1%**、**全国 74.1%**）

***ペア学習、グループ学習を含めてさらに進めたいところである。**

総合的な学習、学級活動、道徳

- 30 授業で学んだことをほかの学習に生かしていますか。
○生かしている＋どちらかといえば生かしている（**本校 100%**、**県 82.2%**、**全国 82.8%**）
- 31 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか。
○思う（本校 6.3%、**県 21.2%**、**全国 25.1%**）
- 32 あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか。
○思う＋どちらかというと思う（本校 50%、**県 78.5%**、**全国 74.0%**）
- 33 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると思いますか。
○思う（本校 18.8%、**県 29.4%**、**全国 28.8%**）
- 34 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思いますか。
○思う＋どちらかといえば思う（本校 62.5%、**県 78.7%**、**全国 80.9%**）

***話し合い活動を通じて、考えを深めたり、広げたりすることも含めて、主体的な部分の力を育てていきたい。**

学習への取り組み

- 35 5年生までに受けた授業では、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。
○思う＋どちらかというと思う（**本校 81.3%**、県 77.5%、全国 77.7%）
- 36 5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか。
○思う＋どちらかといえば思う（本校 43.8%、**県 59.2%**、**全国 62.5%**）
- *31（総合的な学習の時間での取り組み）を含め、情報を整理したり、自分の考えが上手く伝わったりする学習を進め、自分で考え、自分から取り組む意欲を持っている多くの児童の力を伸ばしていきたい。**

国語の学習

- 37 国語の勉強は好きですか。
○好き（本校 6.3%、**県 25.4%**、**全国 26.5%**）
- 38 国語の勉強は大切だと思いますか。
○思う＋どちらかといえば思う（本校 87.5%、**県 93.2%**、**全国 93.0%**）
- 39 国語の授業の内容はよく分かりますか。
○分かる＋どちらかといえば分かる（**本校 93.8%**、県 85.1%、全国 84.9%）
- 40 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。
○思う＋どちらかといえば思う（**本校 100%**、県 92.4%、全国 91.2%）
- 41 国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしていますか。
○している＋どちらかといえばしている。（**本校 100%**、県 78.1%、全国 76.9%）
- 42 国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしていますか。
○している（**本校 37.5%**、県 31.9%、全国 36.2%）
- 43 国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように理由を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫している。
○している（**本校 31.3%**、県 22.5%、全国 26.1%）
- 44 国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つけたり、文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいますか。
○読んでいる＋どちらかといえば読んでいる（**本校 75.1%**、県 69.9%、全国 71.4%）
- 45 今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか。
○全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した（本校 75%、**県 81.6%**、**全国 80.4%**）
- *国語好きは少ないが、県や全国に比較して内容理解は進んでいる。また、意欲があり「～しようとしている」ことが多い。しかし、やり遂げることについては、国語の書く問題への取り組みについても課題が表れている。持っている力を出し切るためにも課題を克服させていきたい。**

算数の学習

- 46 算数は好きですか。
○好き＋どちらかというとき（本校 50.1%、**県 63.1%**、**全国 68.6%**）

- 47 算数の勉強は大切だと思いますか。
○思う（本校 62.5%、**県 72.9%、全国 75.6%**）
- 48 算数の授業の内容はよく分かりますか。
○分かる＋どちらかというと分かる（本校 75.1%、**県 79.2%、全国 83.5%**）
- 49 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか。
○思う＋どちらかというと思う（本校 87.5%、**県 93.0%、全国 92.5%**）
- 50 算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか。
○考える＋どちらかというと考え（本校 68.8%、**県 73.8%、全国 76.5%**）
- 51 算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか。
○思う＋どちらかといえば思う（本校 75.1%、**県 78.4%、全国 79.1%**）
- 52 算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか。
○考える＋どちらかといえば考える（本校 62.5%、**県 82.3%、全国 82.0%**）
- 53 算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか。
○考える＋どちらかといえば考える（本校 81.3%、**県 90.0%、全国 92.1%**）
- 54 算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか。
○している＋どちらかというとしている（本校 81.3%、**県 83.9%、全国 84.0%**）
- 55 算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか。
○書いている＋どちらかというと書いている（**本校 100%、**県 87.6%、全国 87.0%）
- 56 今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたが、どのように解答しましたか。
○全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した（**本校 93.8%、**県 81.8%、全国 80.7%）
- *「～をしようとしている」ところの数字は高くなっている。そのことを継続していけるように支援していきたい。「分かる」という実感を高められるようにしたい。

解答時間

- 57 解答時間は十分でしたか。（国語）
○十分だった＋どちらかというとは十分だった（本校 62.6%、**県 69.5%、全国 74.2%**）
- 58 解答時間は十分でしたか。（算数）
○十分だった＋どちらかというとは十分だった（**本校 87.6%、**県 81.6%、全国 84%）

今後の取り組みについて

- 新出漢字を学習するときに間違いやすい同音異義語と一緒に学習したり、同じ形（部首）が含まれる漢字が入った文章の書き取り問題（短文づくり）などに取り組んだりすることで、漢字の持つイメージや意味についてもていねいに指導をしていく。
- 算数の学習では、どこか図（式）が何を示しているのかみんなに伝わるように、ホワイトボードなどを使って説明する機会をつくる。自分の方法で解答できたからよしとするのではなく、友達の説明を聞き、よりよい方法を見つけていく過程を大切にする。その際、算数用語を使って説明する習慣をつける。
- 朝食、就寝、起床などの生活習慣の課題については、歯みがきも含めた「早寝・早起き・朝ごはん・歯みがき」の指導を進め、児童の意識を高めていきたい。
- 家庭での学習時間は確保されているようだが、自分で計画を立てて家庭学習をしている児童の割合が少ない。「計画的に学習する」とはどういうことか確認し、自分の課題に向かい、見通しを持った家庭学習ができる児童を育てたい。